

はるかせ

やまゆり荘

第69号
平成29年10月31日
社会福祉法人
春風会

〒377-0433 群馬県吾妻郡中之条町折田 2515 TEL.0279 - 75 - 6517

やまゆり荘納涼祭



社会福祉法人 春風会

第18回を数える毎年恒例の「やまゆり荘納涼祭」を8月27日（日）に開催しました。今年もご利用者様、ご家族様、ご来賓、ボランティアの皆様、アトラクション主演者、職員を含めると679名の参加人数となりました。

天候に恵まれ、屋外での開催ができ、中之条中学校吹奏楽部の皆様、いぶき太鼓の皆様、ゼロ戦キッズの皆様、フラピカケの皆様による素晴らしい演奏、ダンスで祭りを盛り上げて頂きました。出演して頂き感謝申し上げます。

そして、ボランティア団体の皆様、春和会の皆様、ライオンズクラブの皆様やまゆり荘役員の皆様には模擬店を盛り上げて頂きました。お陰様で納涼祭終了前に全部完売となりました。毎年ご協力頂き感謝申し上げます。

また、今年からご利用者様のはっぴを袖無しはっぴに替えました。素材を速乾にすることで「動きやすい」「涼しそう」と好評でした。職員もはっぴからTシャツに変更し、カラーも7色と変化を持たせ、それぞれが着たい色を選んで納涼祭に挑みました。結果、「涼しい」や「誰がどこに居るのが分かりやすい」と好評だったようです。来年も何か新しい良いアイデアがあれば取り入れたいと思います。

今年も無事に納涼祭が開催できましたこと感謝申し上げます。皆様のご協力なくして成功はありません。やまゆり荘をご利用して下さる皆様の笑顔のために、これからも職員一同頑張りたいと思います。皆様、ありがとうございました。

特養生活相談員 加部 愛



敬老会

デイサービスやまゆり



デイサービスやまゆりでは、今年は9月18日から21日まで4日間敬老会を行いました。

19日20日はフラダンスのフラピカ様、18日21日は吾妻カラオケクラブ様にお越し頂き、ショーとカラオケを皆様と一緒に楽しんで頂きました。

やまゆり荘の敬老会では毎年『喜寿・米寿・卒

寿・白寿』になられた方に慶祝状を贈らせて頂いております。ご利用者様から「もらえてうれしいよ」喜びの声が聞かれていました。

皆様の長寿を願い楽しいひと時を提供し、「来てよかった」と思ってもらえるようこれからも充実したサービスを提供してきたいと思います。

デイサービス 生活相談員 石坂 浩希



伊勢町祇園祭

なごみグループ



9月2日伊勢町祭りにご利用者様と外出してきました。当日は天気も良く、お昼は吾妻ライオンズクラブ様のご厚意で、林商会様にて焼き肉や親子丼、ラーメン等様々な物を振る舞って下さり、ご利用者様・職員共においしく食べさせて頂きました。施設での食事とは違い、外で食べるという事もあるか皆様の笑顔が見られました。その後短時間ではありましたが山車や子供たちの鼓笛演奏を見学し、そこでも皆様の笑顔を見ることが出来ました。

車中ではご利用者様から「お祭りに来るなんて何十年ぶりで楽しかった」等のお話も聞けて出掛けられて良かったなと感じました。施設での生活だと単調になりがちなので、今後も外出行事であったり様々な行事を計画し、単調な施設生活の中でもご利用者様に喜んで頂けるような工夫をなくてはと改めて感じさせられました。

おいしい食事を振る舞って下さった吾妻ライオンズクラブの皆様には、職員一同感謝申し上げます。

なごみグループ リーダー 小池 勝也





食 事 グループ

防災の日



9月9日を防災救急の日とし、ひまわりグループ様にも参加を頂き、災害や停電時など救急の場合を想定した訓練を実施しました。吸引機を使用する為の非常用発電機の使用方法を学び、やまゆり荘に備蓄してある非常食のアルファ米、ビーフカレー、鶏そぼろ、ようかんの試食を行いました。50食分のアルファ米をカセットコンロだけで涌かしたお湯の力だけで炊いてみるなど、電気水道がもし止まってしまった事を想定した非常食の用

意でしたが、しっかり50食分以上の食事を用意する事が出来ました。実践してみる事で非常食の量や内容、発電機の置いてある場所や使い方等とても良く解る事が出来ました。いざ、と言う時に落ち着いて行動出来るように実践出来たとても良い機会になりました。

ご協力頂いたひまわりグループの皆さんお忙しい中ありがとうございました。

食事係 リーダー 佐藤 莉奈



看 護 グループ

感染症予防



8月は長雨が続き、9月になり快晴が続き暑さも戻ってきたと思ったら、朝・晩の寒さが日ごとに厳しくなってきました。今年、群馬県・埼玉県に（病原性大腸菌）O157の発症があり、群馬県へ帰省中に被害に遭い子供さんが犠牲になるという悲しい出来事がありました。本来O157は熱に弱く、75度以上で1分以上加熱をすれば死滅する菌のはずが、加熱された食品を摂取して

O157に感染し亡くなられてしまいました。原因の詳細は不明ですが、何らかの形でO157に感染してしまったと思われます。これから、O157だけでなくインフルエンザやノロウイルス等、感染症が発生してくる時期になります。日頃から手洗い・うがいをこまめに行い、清潔保持と食事をしっかり摂り感染症予防に努めましょう。

看護チーム 橋詰 正雄

さんま焼き大会



10月17日すっかり秋模様になったこの日、ご利用者様に味覚や嗅覚でも秋を楽しんで頂こうと、毎年恒例の『さんま焼き大会』を開催しました。

前々日から雨が続きお天気を心配しましたが、当日は前日までのお天気が嘘のように綺麗な秋晴れになり、職員で焼く170本もの秋刀魚の煙が空いっぱいになり、やまゆり中に食欲のそそる香りが漂いました。

昼食のメインとして出された秋刀魚は1人1人の食の形態や要望に合わせ、尾頭付きから、骨抜き、ミキサー食までご利用者様が一番美味しく味わえる形で提供され、皆様に笑顔と共に召し上がって頂きました。

笑顔が溢れた食事時間。味覚に嗅覚に秋を楽しんで頂ける1日になりました。

来月は秋の味覚第2弾やきいも大会を予定しています！また皆様の笑顔が溢れるのが職員一同楽しみです！

総務 蟻川小百合

はるかぜ保育園

小麦粉粘土作りました

1歳児はいままでにない感触に興味をもちます。つんつん触ったり、にぎにぎしてみたり、気の向くまま粘土の感触を楽しむことができました。

2歳児は指先を上手に使える子が増えてきます。丸、三角、四角、ハート型など、色に興味がある時はカラフルな粘土も作りました。

3歳児4歳児は見立て遊びやごっこ遊びが盛んです。個人差はありますが形を作るだけでなくおままごとやお店屋さんごっこも楽しめました。

同じ粘土遊びでも年齢別で様々です。想像力、発想力、自分で一から作ることは楽しいと感じることができました。

保育所 小池善洋



編集後記

朝晩涼しく、すっかり秋らしくなりました。稲も黄金色になり、頭を垂らしています。

先日、主人の実家の稲刈りに行きました。はんでを作り、鎌で稲を刈り、脱穀など人手も時間も掛かる作業だったようですが、今ではコンバインと乾燥機のおかげでその日のうちに美味しい新米が食べられます。とは言え、田植えからお米になるまで、手間隙かけて美味しいお米を作ってくれる義父に感謝です。毎年義母が採れたての新米をガス釜で炊いてくれますが、お米がつやつやで味も格別です。

季節の変わり目に体調を崩さないよう、美味しいご飯を頂いて健康管理をしっかりしたいと思います。

やまゆり荘居宅介護支援事業所 山本由香理